

## 保護者の皆様へ

今こそ、そろばん学習をお薦めします。



### 『脳』の回転が良くなります

テンポの速い時代を生きる子供達にとって、動作や判断が遅いことは大変不利なことになります。そろばん学習はまさにそれを解消するための訓練です。珠算の上級者は頭脳の回転も速くなり、珠算を知らない一般の人よりも短時間で物事の処理を正しく行なうことができるようになります。

また、指先の訓練は脳を刺激・発達させることが、医学的・科学的にも立証されています。計数処理能力が高まるのが最も顕著ですが、集中力・忍耐力・記憶力・機敏性なども養われます。頭脳の訓練という観点からも、そろばん学習の開始時期は低年齢が最適です。

### 努力の結果がわかりやすい

小・中学校では、努力をしなくても全員が同時に進級します。ところが社会に出ると実力主義です。自分で人生を切り開いていかなくてはなりません。競争意識の低い人。消極的で受け身の人にとっては不利な世の中です。

そろばん学習は「社会の縮図」的要素があります。試験に合格しなければ進級できません。従って「努力」次第で先に習い始めたお友達を抜くことも可能です。こういった経験により精神的に逞しくなっていくのです。

### 知識の入る容器が大きくなる

人間の脳を容器とし、知識を得ることはその容器に水を注ぐことに例えてみましょう。小さなコップと大きなバケツでは入る量が違います。

容器を大きくすることと、水を注ぐこととどちらに重点をおけばよいのでしょうか。昨今の学校や家庭教育では水を注ぐことの方ばかりに関心が向いているような気がしてなりません。許容量を越え、溢れているのに気付かずに注ぎ続けても無駄なだけです。そろばん学習は容器を大きくする訓練です。計算力だけでなく、勉強をはじめ、種々の面においての基礎固めをします。

### 落ちこぼれがありません

学校教育では、文部省で定められたカリキュラムに基づいて授業を進めるため、できる子供の「伸びる芽」を摘んでいます。一方、理解の劣る子供は「落ちこぼれ」となってしまいます。劣等感が原因で学校がつまらなくなり、これが「登校拒否」や「いじめ」「非行」につながるケースの大きな割合を占めています。

そろばん学習は、理解出来なければ次の段階に進めません。子供は一人一人が能力にあった学習をするわけですから「落ちこぼれ」になりようがありません。マイペースで進むことが出来ます。強いて言えばやめることが「落ちこぼれ」でしょう。

### 精神面・性格の精密検査に

そろばんを習い始めると、性格上の長所と欠点をはっきりと出てきます。欠点を矯正しない限り上達はしません。例えば、落ち着きが無く早やトチリ、集中力が無く周囲をキョロキョロ、内向的で存在感がない、自己中心的で協調性がない。どれも伸びていくためには障害となることばかりです。

こういったことは、本人が自覚を持って、そろばん学習に真剣に取り組むことによって矯正されていきます。人間形成期に「そろばん」に関わるかどうかで大きな差がつくのです。

### 『信頼関係』と『縦社会』

1年か2年ごとにクラス替えのある学校と違い、そろばん教室での友人とのつながりは期限がありません。自らが去らない限り永遠です。先生とも同様で、長い付き合いの中から教育の原点である『信頼関係』や『師弟愛』が生まれます。

また、学校のクラスは同じ年齢の集合体で、上下関係のない、いわゆる『横社会』であるのに対して、「そろばん教室」では学年の違う人達や、学校の違う人達が同じ教室で学習する『縦社会』となっています。実社会の縮図でもあり、先輩や後輩と接する中から多くのことを学ぶことができます。

### そろばんは「知的スポーツ」

そろばん学習は、常に「正確」「速さ」という二大要素を迫る学習です。自己記録の更新を目的としたり、お友達との競争を通じて伸びていくことはスポーツと同じです。初心者の方は級に合格という楽しみで頑張り、上達すると各地で行なわれます「珠算競技大会」という晴れの舞台に参加することができます。ですから私はそろばん学習を「知的スポーツ」と言っています。

